

伊勢湾と熊野灘の陽光が輝く 花と展望の度会山系の主峰を歩く

みちくさハイキングクラブ／和歌山

児嶋 弘幸



板取分岐を過ぎるとヒメシャラの木が茂る岩稜歩きとなる

度会山系主峰の七洞岳は、別名を白岩岳とも呼ばれる。展望と花の山として親しまれ、四方から登山道が通じている。ここでは、「なんじやもんじや広場」の駐車場が利用できる藤ヶ谷コースを紹介しよう。

なんじやもんじや広場に車を駐車。右前方に、ゆつたりとした山容の七洞岳を眺めながら、県道を横切る。道標に従つて林道に入る。ジグザグの林道歩きとなり、高度を上げていく。尾根鞍部に出て右へ。しばらくして林道終点の広場に着く。これより登山道に入る。視界の閉ざされた緩やかな起伏の尾根道を行く。ヤマザクラ、ナラ、クヌギ、ヒメシャラの落葉樹の間を、快適に足を進める。

やがて、進行方向を緩やかに南に変える。登山道が左手から合流。一気に高度を上げると、石灰岩の白い岩が目立ち始める。板取分岐を左へ、ヒメシャラの木が茂る岩

まじりの稜線歩きとなる。春にはカタクリ、夏にはトリカブトなど、花が咲く道だ。樹林の隙間から七洞岳を望む。マイクロウェーブ跡を過ぎると、一等三角点のある七洞岳山頂すぐ。山頂からは西に台高・飯南の山々、東に獅子ヶ岳、360度の眺望が思いのままだ。



お弁当はここ展望岩の上で

本コース以外に、最短ルートの野原コース、獅子ヶ岳縦走、熟練者向きの板取コースなどがある。

ひと休みの後は、10分ほど東へ下つたところの展望岩に立ち寄つてみよう。昼の休憩には、こちらの方がお薦めだ。足下に樹海があり、西に七洞岳の岩稜、東に獅子ヶ岳と熊野灘の海が陽光に輝いている。しばし展望岩からの眺望を満喫しよう。山頂に戻つて、往路を駐車地点に戻る。



(時)なんじやもんじや広場>40分>林道広場>30分>P486>90分>野原分岐>30分>板取分岐>30分>七洞岳>10分>展望岩>10分>七洞岳>20分>板取分岐>90分>なんじやもんじや広場

(○)紀勢自動車道の大宮大台ICから国道42号線を南下して「奥伊勢木つつ木館」前を左折する。県道38、36号線を経て20分程で「なんじやもんじや広場」に至る

(問)大紀町観光協会 0598-86-2211

(湯)阿曾温泉 0598-84-8080 500円 10:00~21:00
水曜定休 紀勢本線阿曾駅近く

旧阿曾小学校の校舎をそのまま利用した日帰り温泉

(地)脇出 伊勢佐原

(時)参考タイム (○)交通 (問)問い合わせ (湯)立ち寄り湯 (地)地形図